

助け合いの心

城辺中学校

二年

高平

なごみ

最近、大きな地震が相次いで起きています。

私は、起震車体験で震度七の揺れを体験しました。もし、震度七レベルの地震が起きたら、恐怖でパニックになっちゃいます。と思いました。

学校では、地震に備えて避難訓練を行います。避難場所や避難経路の確認をしています。訓練では逃げる通路を塞いだり、突然、避難訓練をしたり、授業中や休み時間や放課後の部

城辺中学校

活動中に行ったりなど、いろいろな場面を想定して実施しています。しかし、本当に大きな揺れがきたとき、訓練のように落ち着いて行動することができるとは、なかなか、避難訓練を繰り返しておくことは大切だと思います。

それとともに、私は減災のためには、町全体が一っになって、自助、共助、公助の協働で被害を防ぐことも大事だと思っています。災害弱者の避難を的確に、という話を読んで思いました。

た。愛南町は、特に高齢者の方が多いいです。だから、若い私たちにできることを考えておかないといけないと思います。自分の家の周りにどんな方が住んでいて、どんな手助けが必要なのか、私たちに何ができるのかを理解しておきたいです。そのことが「共助」につながっていくと思います。

また、各家庭での準備も必要です。私の家では、いつ地震が起きてもいいように、三日分の食事ができる量の缶詰や衣服などが入ったリュックを用意しています。それだけではなく、避難場所を家族と話し合っておくこと、家具の置き方をもう一度見直しておくこともしておきたいと思っています。それが「自助」の一つだと考えます。

城辺中学校

南海トラフ巨大地震の起こる可能性は、毎年高くなってきています。この地震が起きると、愛南町は津波の被害も受けます。そのときどう行動できるかで、多くの命を守ることができるのではないでしょう。町民みんな

が心を一つにして「自助・共助・公助」で助け合えるように、そして、地震や津波に備えておくように呼び掛けていきます。

城辺中学校